

登録番号	プロトコール名				
C83-099A	DLBCL Pola-R-CHP療法(C1)				
診療科	血液内科			1クールの日数	21日
審査日	2022年10月31日	所要時間	240分	適応外使用	■なし □あり
適応病名	DLBCL			放射線療法	■なし □あり
実施部署	□外来 ■病棟 □その他()				
適応分類	■初発 □進行・再発 □術後補助 □術前補助 □その他()				
番号	抗がん薬名	1日投与量		投与法	投与日(d1、d8等)
1	リツキシマブ(リツキシマブBS)	375mg/m2		div	d1
2	ポラツズマブ ベドチン(ポライビー)	1.8mg/kg		div	d2
3	シクロホスファミド(エンドキサン)	750mg/m2		div	d2
4	ドキシソルビシン(ドキシソルビシン)	50mg/m2		div	d2
5	プレドニゾロン(プレドニン)	100mg		div/po	d1-5
6					
7					
8					
エビデンスレベル	■治療 (エビデンスレベル □1 ■2 □3 □4 □5 □6)				
ガイドライン文献名	Tilly H et al. Polatuzumab Vedotin in Previously Untreated Diffuse Large B-Cell Lymphoma. NEJM. 2022;386:351-63				
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	患者の状態、減量基準により、適宜減量する				

プロトコールに関する解説	
プロトコールに関する解説はありません。	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
DLBCL Pola-R-CHP療法(C1)		21日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day1	① プレドニン注100mg + 生食50mL	div	15分
	② 生食50mL(フラッシュ用)	div	5分
	③ リツキシマブBS 375mg/m ² + 生食* 点滴開始30分前にカロナール錠200mg2錠、 レスタミンコーワ錠10mg5錠内服。 * 初回投与 最終濃度1mg/mLになるように調製。 投与速度50mL/hで開始し、 30分毎に50mL/hずつ増量(最大400mL/h)。	div	**
	④ 生食50mL(フラッシュ用)	div	5分
day2	① パロノセトロン0.75mg + プレドニン注100mg + 生食50mL	div	15分
	② 生食50mL(フラッシュ用)	div	5分
	③ ポライビー 1.8mg/kg + 生食100mL 点滴開始30分前にカロナール錠200mg2錠、 レスタミンコーワ錠10mg5錠内服。 点滴静注用30mg: 注射用水1.8mL、 点滴静注用140mg: 注射用水7.2mLで溶解。 溶解後の濃度は20mg/mL 希釈後の濃度は0.72~2.7mg/mLとなるようにすること。 投与時は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用。 調製後4時間以内に投与終了。	div	90分
	④ 生食50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑤ ドキソルビシン 50mg/m ² + 生食100mL	div	30分
	⑥ エンドキサン 750mg/m ² + 生食250mL	div	90分
	⑦ 生食50mL(フラッシュ用)	div	5分
day3-5	① プレドニン 100mg/body 1日1回朝食後	p.o.	
day1	前投薬 カロナール錠200mg 2錠 レスタミンコーワ錠10mg 5錠 リツキシマブ投与30分前に内服	p.o.	
day2	カロナール錠200mg 2錠 レスタミンコーワ錠10mg 5錠 ポライビー投与30分前に内服	p.o.	
プロトコール 適応時 表示コメント	d1-5:PSL100mg/d投与。RTX/Pola投与30分前にカロナール400mg、レスタミン50mg内服。		
照射併用時 照射線量	グレイ (備考欄:		